

愛宕山相撲

昭和30年代



愛宕山の相撲大会は光徳寺の報恩講の満座相撲として行われた。「天長節相撲」や「明治記念相撲」などと呼ばれた。

西湊小学校でのバザーの様子

昭和28年11月



現在のバザーと違って、野菜や履物など、実生活に直結したものが売られていた。

田鶴浜小学校80周年記念旗行列

昭和28年11月



明治6年6月に区学校を石川県第24中学区田鶴浜小学校と改称。80周年を記念して校歌も制定された。

戦前の能登海岸風景

明治～大正



漁業が盛んな能登島。海岸付近には多くの船小屋と漁舟が並んでいた。

一本杉通り

明治末ごろ



一本杉通りから生駒町方面に向かって撮影されている。右側の電柱が印象的である。

能登島大橋建設現場

昭和55～56年



昭和54年に起工して、57年4月に開通した能登島大橋。能登島島民の夢の架け橋となった。

三八豪雪

昭和38年1月



2メートル近く積もった雪で、七尾市全域は大混乱となった。

矢田新埠頭と七尾市街地を望む

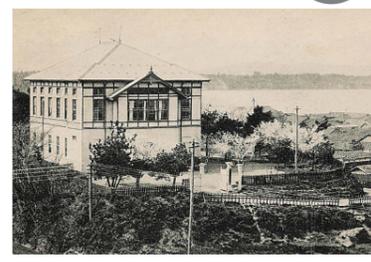
昭和30年代



昭和町から西側の埋め立てがされていない。矢田新町付近も家がまばらである。

愛宕山に建つ鹿島郡公会堂

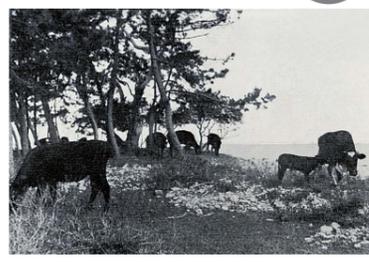
大正期



東宮殿下（後の大正天皇）行啓記念として建てられた。後に少年科学館となった。

緩目竹生島での放牧風景

明治～大正



農作業や運搬などには欠かせない労力として牛馬が飼育された。能登島は、名馬池月を産んだ土地柄の伝承がある。

フェリーのと

昭和57年7月



昭和41年に七尾-佐波間にフェリーが就航した。写真は能登島と穴水間の就航を記念したときのものである。

田鶴浜小学校の創作凧

昭和56年3月



6年生は卒業記念として大凧を制作し、各クラスごとで凧揚げを競った。

相馬小学校、雪の芸術祭

昭和56年2月



1～6年生までの縦割り班でチームを組んで制作。かなり大型の動物の雪像もあったそうだ。

大正期のデカ山

大正期



街中に電柱が立ち並び、デカ山の運行に支障が出るようになった。

県下トップの上水道

大正2年



中島水道は明治44年に設計図が完成し、大正元年に内務大臣の敷設認可を得た。写真は当時の米谷義松村長。

旧能登総合病院

平成11年11月



昭和39年に現在の七尾高校が建つ敷地に新築され、平成12年2月に藤橋町に移転した。

中島町高毛(たかも)の渡し

平成5～6年頃



中島町長浦と能登島通町を結ぶ渡し舟。わずか500メートルの距離であるが、古くから渡しが人々の交通手段であった。

中島町瀬嵐の七夕

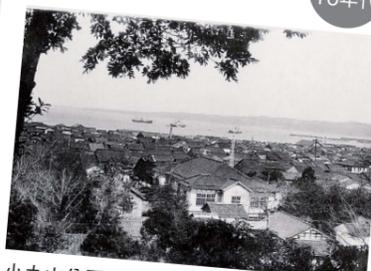
昭和60年代



七夕を船に飾り、沖で七夕の飾りを流す風習があった。願い事を海に流して祈ったのであろうか？

戦前の七尾市街地

昭和10年代



小丸山公園からの眺め。手前の建物は鹿島郡役所で、旧七尾市立図書館が建つ場所。

旧七尾警察署

昭和9年



相生町(現 たちばな公園)から、三島町に移転新築された七尾警察署。川洲通りのランドマークとして親しまれた。

新七尾駅

昭和初期



大正14年に本府中から現在地に移転して建てられた。旧駅舎は現在越中八尾駅となっている。

取材した高齢者の皆さんが歩んできた100年。この間、七尾市はどのように移り変わって来たのでしょうか。私たちが住む故郷七尾の100年を振り返ってみましょう。

七尾 時間旅行

故郷七尾100年を振り返る